



凌雲台

龍野小学校 学校便り

<No.3> H30. 6. 29
文責：校長 江上 知男



<人権集会>6年生の発表の様子

6月は人権旬間に取り組みました

6月4日～16日は、龍野小学校の人権旬間でした。各学級で人権学習を行いました。子どもたちの発達段階に合わせて、人権についての正しい理解と認識を培えるよう取り組んでいます。人権学習の内容は、各学級の子どもの実態に適したものを考えていきますが、町内の小学校がすべて甲佐中学校に進学することから、「4小学校の共通教材」も設定しています。

6月16日は、土曜授業を兼ねて人権学習の授業参観を行いました。また、その後に行いました学級懇談では、子どもたちの人間関係がより良くなるように、有意義な意見交換がされました。「学校がすべきこと」「家庭がすべきこと」を明確にし、学校と家庭が同じ方向を向いて進める「良いきっかけ作り」になったのではと考えています。多数の保護者の皆さまに参加いただき、本当にありがとうございました。

<龍野小学校の人権教育の目標>

子ども一人一人の自己実現につながる確かな学力を身に付け、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることのできる豊かな人権感覚と実践力をもった子どもを育む。

★「確かな学力」とは：将来、自立した社会人になるために必要な力。

★「自分の大切さ、他の人の大切さを認める」とは：自分のことを好きになること。そして、それを他の人にも当てはめて考えること。

水泳の授業が始まりました！

6月22日にプール開きを実施し、水泳の授業が始まりました。プール開き当日は天気にも恵まれ、水温も程良く、子どもたちは本当に気持ちよく水に親しんでいました。これから、夏休み後の9月まで、たくさん水に入って、水泳の力を高めて欲しいと思います。

さて、「水泳」は体育の中でも特別な領域だと考えています。理由として、次の2つがあげられます。

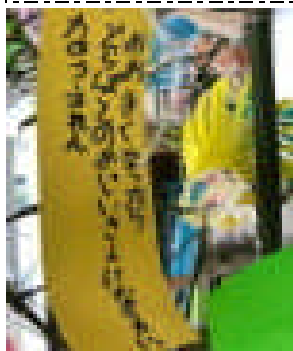


<命を守る手段になる運動である>

毎年夏になると、必ず水の事故が起こります。水の事故は本当の「命取り」です。いざという時、自分の命を救ってくれるのは、「身につけている泳力」と「泳げるという自信(過信ではありません)」だと思います。水泳は自分の命を守る大切な手段になります。

<体力に合わせて、一生続けられる運動である>

スポーツにはいろんな種目・楽しみ方がありますが、適度な全身運動で、しかも年齢を重ねても取り組めるスポーツとなると、数は限られます。水泳はその一つであり、泳ぐことを覚えれば、健康作りや楽しみとして一生続けられます。



ご覧ください！1年生のステキな七夕の短冊です！

1年生が七夕飾りに取り組み、飾りの中からステキな短冊を見つけました。なんと、そこには「おおきくなったらどらばとのおじいさんになりたい」と記されていました。日頃から、龍野小学校の子どもたちの安全を、地域で支えてくださっているドラパト隊の皆さまへの、子どもたちからの「心からのお礼」だと思いました。子どもたちは、しっかり見えています。ドラパト隊の皆さま、感謝いたします。